



THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS

REGION 9 ワイズメンズクラブ国際協会西日本区
JAPAN WEST

理事通信 2023年 4月号

編集 & 発行・西日本区理事事務局

- 理事メッセージ
- 今月の聖句
- 西日本区強調活動（4月）
- 次期会長・主査研修会報告
- ワイズメンズクラブ 100周年
- RDEサミット
- 各部便り
- 年次代議員会広告
- アジア太平洋地域大会案内
- キャビネット便り

◇主題 **原点を知り将来に生かす！**
Know the origin and utilize it in the future!

◇副題 **立ち上がれワイズ モットーと共に！**
Stand up Y's Men with our Motto!



第26代 西日本区理事
田上 正

アジア・太平洋地域のMid-year Meetingにおいて、YES資金の支援に関する提言をいたしました。国際は5名以上で新クラブ創設を推奨していますが、その期のうちに15名のgood standing clubになればYES支援金が新クラブに与えられます。例えば5月に5名で創設したクラブは1～2カ月以内に10名増員をせねばなりません。チャーター後1年以内にできないかが、私の提案です。予算が絡むので時間はかかるかもしれませんが。

3月5日に神戸市の須磨寺町自治会館で第49回ワイズ将来構想特別委員会が開催されました。足掛け7年にわたる特別委員会でワイズが抱える多くの問題が抽出され、役員会にも協議案や議案として提案されています。私が参加したこの2年はコロナ禍でZOOMでの話し合いばかりでしたが、これまでの総括と引継ぎがテーマでしたからハイブリッド開催になりました。4時間の討議の後、懇親会を開催しました。次期からは新ワイズアカデミー委員会（仮称です。他にストラテジー委員会やビジョン委員会の名称案があります）に移行予定です。委員会メンバーは各部から2～3名を募り、学習・提案型の委員会ができたと思います。詳細は第3回役員会で発表する予定です。

2022年度次期会長主査研修会が新大阪駅近くのコロナホテルで3月11～12日に開催されました。ちょうどワイズメンズクラブ国際協会100周年祝賀会（台北市）と日程が重なりましたが、参加された皆様や講師の皆様の熱意が伝わる良い研修会だったと思います。「語ろうワイズの未来」の時間を設けていただき、ワイズとYMCAの関係や協働について学びと次期会長からご意見をうかがうことができました。数名のYMCAスタッフ（総主事を含む）が参加されており、勉強になりましたと感想を述べられホッと致しました。

*

第26回西日本区大会までに3カ月足らずになりました。キャビネットにとっては第3、第4回役員会と代議員会が控えており、緊張の連続が続きます。ワイズメンズクラブ復活のきっかけが得られるように頑張ります。



理事のひとこと 「クタバレ」

今でも月曜日から金曜日までメネットが弁当を作ってくれる。37年ぐらい前の若かりし頃、昼休みに弁当箱を開くと「クタバレ」の文字が海苔でご飯の上を書いてあった！ 昨日から今朝にかけて喧嘩をした覚えはない。モヤモヤする気持ちを抑え、家に帰った。

メネットはご機嫌の表情で「お弁当美味しかった？」と聞いてきた。「どうしてクタバレなの？」と恐る恐る尋ねた。途端にメネットさまは大笑い。何と、「ガンバレ」と書いた海苔の文字が蓋にくっついたり離れたりして「クタバレ」になったようだ。

以来、弁当箱でのメッセージのやり取りはしていない。今はLINEがあるので絵文字も使える。

西日本区強調活動

4
月

R B M-ROLL BACK MALARIA

ロールバック マラリア



世界マラリアデー（25日）・1人1人の暖かい支援で
国際的予防戦略にご支援をお願いします。



伊藤 文訓 地域奉仕・環境事業主任
(長浜クラブ)

今月の聖句

パンの屑と魚の残りを集めると、十二の籠にいっぱいになった。
マルコによる福音書6章43節



「もったいないから」



西日本区チャプレン 立野 泰博

イエスの奇跡に有名な五千人の給食があります。「五つのパンと二匹の魚で大勢の群衆に食べ物を与えなさい」と弟子たちに命令され五千人以上の人食べて満腹し、残りは十二の籠にいっぱい残ったというのです。

早朝にゴミ収集車がやってきます。朝から何回もやってきます。私たちは毎日、大量のものをゴミとして出しています。ゴミ収集車の後ろに「もったいない」と書いてありました。手書きの大きな文字でインパクトがありました。この言葉がゴミ収集車に書いてあることに教えられました。大量のゴミは果してゴミなのか。ゴミでないものをゴミにしまっている。そんな「もったいない」ことをしてはいないか。そう問いかけられました。

五千人の群衆を五つのパンと二匹の魚で満腹されたとき残ったものがありました。それを翌朝生ごみとして捨てたのでしょうか。祝福された食物として持ちかえり大切に食べたでしょう。神の手が触れ祝福された食べ物ですから。私たちワイズも与えられているものを無駄にしないかと問われています。



2008 年からマラリアを地球上から根絶する方法についての認識を高めるために**4月25日**を**世界マラリアデー**としました

ワイズメンズクラブ国際協会 (YMI) は、WHOによるマラリア終結のための RBM パートナーシップ、グローバルファンドというプログラムパートナーとともに、世界マラリアデーのテーマを推進しています

このテーマは、マラリアのない世界を実現するという共通の目標のもと、世界のマラリア・コミュニティが団結するためのエネルギーとコミットメントを強調するものです

1人1人の温かい支援で国際的予防戦略により一層協力を！

**ワイズメンズクラブ国際協会は
マラリア撲滅のためのRBMパートナーシップのパートナーとして**

2008年以降、国際赤十字・赤新月社連盟(IFRC)の活動を支援し、流行国の社会的動員・行動変容のコミュニケーションを踏まえ、殺虫剤ネット(LLIN)配布による世帯への支援を目的としたプログラムへの資金支援を推進しました。

また「ハングアップ」と「キープアップ」の主なプログラムを通じて、2010年から2020年にかけて、シエラレオネ・トーゴ・タンザニアでのIFRCの活動を支援しました



< 殺虫剤ネットを使用している家族風景 >

国際赤十字社・赤新月社連盟 (IFRC) は

各国赤十字・赤新月社の国際連合体として人道支援活動に指導力を発揮。日本赤十字社を含む各 国社との協力の下、被災者の救援に大きな役割を果たしています。

ちなみに――――

「西日本区の RBM 献金状況」

○ 2018-19 年度 総額 869,536 円	1人あたり最高額	京都トップスクラブ	2,729 円
○ 2019-20 年度 総額 797,000 円		京都 クラブ	1,723 円
○ 2020-21 年度 総額 862,829 円		岩国南クラブ	4,400 円
○ 2021-22 年度 総額 912,500 円		滋賀蒲生野クラブ	2,708 円
○ 2022-23 年度	6月西日本区大会で発表します		

未来のリーダーを育てる

ワイズリーダーシップ開発委員長 鵜丹谷 剛
(神戸クラブ)

3月11日・12日に次期会長・主査研修会が大阪コロナホテルにて開催されました。ZOOM参加者含め総勢130人以上の参加となりました。

講師並びにご協力、ご参加頂きました皆さまへ改めまして御礼申し上げます。また、個人事にはなりますが、今期がLD委員長として任期最終年度であり、まだ残す所数か月ございますが、委員会として中心的な



行事は今回の研修会が最後となりました。研修会の終わりにはLD委員メンバーよりサプライズの花束と記念品を頂き、本当に心嬉しい限りでした。ありがとうございました。

今回の研修会は、全体を通して西日本区が抱える多くの課題についても考える場面の多い研修会でした。会員減少及びそこから生じる課題を一足飛びに解決する事はできませんが、様々

な変革へ向け、田上正理事のテーマ『原点と知り将来に生かす』を土台として、深谷聡次期理事期へと繋がる起点となった研修会であったと思います。参加メンバーが次期に向けて、今おかれている課題への危機感をより強く感じて頂き、それぞれの次期への活動へ繋げて頂ければ幸いです。

一方、厳しい環境にあっても我々ワイズの活動が社会へもたらす実りは多く、素晴らしい資源に満ち溢れていると思います。LD委員として研修会の運営に携わる中、研修会という場は、次期のリーダー方々が必要な知識や情報を得ていただく目的は勿論ですが、参加者がワイズ活動の魅力への気づきや再発見ができたり、その事で視野やモチベーションを高めたり出来る貴重な場であると感じてきました。



また同時に研修会は受講される方々のみならず、関わる委員のメンバーにとっても委員会活動を通じて多くの気づきと成長をもたらすものと強く感じています。その意味ではLD委員会への参画が、西日本区が抱える問題解決への一助となる可能性も多いに有り得ます。その事を是非信じていただき、未来のリーダーとなる若きクラブメンバーを是非LD委員会へと送り出して頂く事を切にお願い申し上げます。引き続きLD委員会をよろしくお願いたします。



次の世紀に向けて、みんなで一緒に

アジア太平洋地域書記 前田 香代子
(熊本ジェーンズクラブ)

3月10日～12日まで、ワイズメンズクラブ国際協会の創立100周年の祝賀会が、台湾で開催されました。参加者はおよそ500名、うち西日本区からは27名でした。当初は昨年11月に予定されていましたが、コロナ感染拡大の影響でこの日程に変更されました。西日本区の次期会長・主査研修の日程と重なり、参加を希望されていた多くのワイズメン・メネットが不参加を余儀なくされたことは大変残念なことでした。



第1日、開会セレモニーでは、直前国際会長、国際会長、次期国際会長が入場、続いて各エリアのフラッグが続きます。アジア太平洋地域のフラッグは、大野勉直前エリア会長（神戸ポート）が掲げて入場しました。開会宣言・点鐘、そしてウルリック会長挨拶、ゲストのスピーチがあり、晩さん会では、台湾文化のパフォーマンスを楽しみました。



第2日、Wei-Ta Fang 博士による基調講演は、タイトル「地球再生」でした。また、3日間を通して3回、YMIの100年の物語がVideoで流されました。次に、IBC締結式2つがありました。ひとつは、台湾のクラブとフィリピンのクラブ、そしてもうひとつが、西日本区大阪クラブと中米区のトレードセントラルクラブです。世界と日本で最も歴史を持つクラブ同士のIBC締結です。それぞれの代表がサインをし、締結書を交換しました。



そして最終日、会場を国際コンベンションセンターに移し、2つめの貴重講演、これは2人のユースによるもので、将来のYMIビジョンについて熱く語ってくれました。その後、国際会長とこの祝会チーム代表が以下の100年宣言を読みあげました。

「We proudly celebrated YMI's legacy and impact in the first century. Let's all walk together into the next century. 私たちは、最初の1世紀におけるYMIのレガシーとインパクトを誇らしく祝いました。次の世紀へ向けて、みんなで一緒に歩んでいきましょう。(和訳)」

3日間のハイライトが会場のスクリーンに映し出され、閉会式。聖書が閉じられ、点鐘が終わりを告げました。

その他、大会中の写真はこちらからご覧いただけます。 <http://30d.jp/ysjapan/22>

国境を越えての交流

京都ウェストクラブ 会長 澤田長利

ワイズメンズクラブ100周年IN台湾に参加しました。大会初日からの参加させていただいたことに感謝です。台湾訪問37年ぶりと、あまりにも久しぶりで、楽しみにして参加させていただきました。

今回、ウェストクラブは13名のメンバーでの参加となりました。初日会場は熱気があり世界の国々から沢山参加されていました。ウェストメンバーは数人ずつテーブルに割り振られており、各国のワイズメンとの交流をさせていただきました。テーブルでは、韓国や台湾の台北ダウンタウンのメンバーや台湾の他クラブの方々と交流させていただきました。始めは緊張しておりましたが、乾杯してお酒が入りだすと、国境関係なく楽しませていただきました。

2日目のエクサレーションではIBC台北ダウンタウンの仲間と、初日に台北ダウンタウンとIBC締結したフィリピンのRAHAクラブの仲間と行動させていただきました。移動のバスの中で台湾語と英語、日本語の通訳をしていただき大変有意義な交流をさせていただきました。

今回初めてワイズ活動を世界で参加させていただき視野がかなり広がったと思いました、また次回も参加させていただきたいと思います。

国際交流に参加して

京都ウェストクラブ
書記 中野かおる

国際交流に初めて参加しました。2泊3日の行程でした。海外から来られる方々への配慮について勉強になりました。IBCの台北ダウンタウンの方々にもお会いできて嬉しかったです。バタバタと帰ることになってしまい、今回は不完全燃焼です。次は二日間をもっと楽しめるように、行程の確認と、自分はどうしたいのかを明確にして参加できればと思いました。



国際交流初参加

京都ウェストクラブ 酒本幸弘

英語はまったく話せないのですが、大会では演説などは通訳機を使い聞く事ができました。ワイズメンズの歴史や今までのボランティア活動を紹介いただき勉強になりました。また華やかな音楽やダンスがあり他国の文化に触れる事もできました。テーブル交流では通訳アプリを使い、名刺交換や会話を楽しみました。しかし、英語勉強せなあかんなと思いました。

2日目現地ワイズが支援している場所の訪問で、保護されたクジラを助けるためのプールなどをポートし無事に海へ返す話を聞きました。海をバックに写真を撮ってあげた他国のワイズ夫婦が会場で自分の名前を覚えてくださり声をかけていただきました。

最終日、台北ダウンタウンの方が車で空港まで送っていただき助かりました。ワイズメンズの暖かい心に触れる事ができ、普段経験できないような海外交流ができました。



ミッションパートナー ワイズとYMCA

西日本区次期理事 深谷 聡
(名古屋クラブ)

次期会長主査研修会を中座して、3月12日より15日まで台湾・台北YMCAホテルにて開催されたRDEサミットに参加しました。

参加国はオーストラリア、台湾、韓国、タイ、インド、スリランカ、ジャマイカ、アメリカ、カナダ、エストニア、リトアニア、ブラジル、ペルー、デンマーク、ノルウエー、ナイジェリア、日本の17カ国から約50名の仲間が集まりYMIの国際性を強く感じる事が出来ました。



国際会長のウルリック・ラウ

リドセン氏の主題は新約聖書マタイにより福音書5章16節から着想を得た Let your light shine (輝かそう、あなたの光を) です。これからの私達の活動が未来を輝かせる灯台の様なものでポジティブな物を照らす為の道標を提供し、この光が社会に反射され、受け継がれる事です。その灯台の光では電球のように小さくても多く集まる事で壮大な光になるはずです。

我々YMIが求める世界平和を実現する為にとっても希望に満ち溢れ勇気付けられる言葉だと思います。世界の仲間と討論や発表で理事としての学びを分かり易く、楽しく学ぶ事が出来ました。

何処のクラブもジェンダーレス、会員減少、YMCAとの関係等と悩みは何処も同じでした。特にこれからのワイズとYMCAの関係をミッションパートナーと位置付け、それぞれの活動での役割を戦略的に計画し、目標を達成できるよう歩んで参りたいと思います。メンバー増強、新クラブの創設とEMC事業は各国のクラブの方法を尊重して推進していく事が話されておりました。

又ユース事業は、これからのYMIの可能性を示すものであると思います。IGo、TOF等を利用し具体性を持って広めて行きたいと話されました。今回1人目のIGo参加者がこのサミットで発表をされました。海外の文化を理解し、共に認め合い、国、民族、宗教を超えた真の交流を感じる事ができました。



YMI RDEサミットは私にとって初めての経験でした。私は正に井の中の蛙であったと反省をする事ができました。YMI、YMCAだからこそ出来る経験を与えて頂き、出来る限り皆様と共有をしてワイズダムの発展に寄与して参りたいと思います。心より感謝を申し上げます。

びわこ部

4クラブ合同例会開催

部長 林 宏一

◇日時：2023年3月16日（木）19：00～20：50

◇場所：彦根勤労福祉会館 中ホール

びわこ部では、県の北部に位置する彦根、彦根シャトー、長浜および高島の4クラブが年1回の合同例会を開催しています。

3年前にチャーターされた高島クラブについては、最初となるはずだった2021年3月4日は新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響から中止となり、2回目に当たる2022年4月7日も同じくコロナのため、役員のみがリアル出席でZ o o m併用の例会でした。この日は三度目の正直で、彦根クラブがホストとなり4クラブから27名の出席を得てリアル開催されました。



当日は彦根クラブ五味由紀子会長の開会点鐘に始まり、彦根シャトー金澤芳夫会長、長浜松岡義隆会長、高島牧賢範会長の代理林俊博書記、彦根五味会長がそれぞれ挨拶をされました。

続いて今年度4人目となる長浜クラブの入会式（高山善之ワイズ：おめでとうございます！）が執り行われ、厳粛かつ明るい雰囲気の中、合同例会となりました。

記念スピーチでは、日本基督教団彦根教会の廣田和浩牧師（長浜市出身）がご自身の経歴から始まり、学生時代にたしなまれたアマチュア無線のお話を絡めて「伝えること」について語っていただきました。



滋賀YMCA竹内秀和担当主事からYMCAニュースを伝達いただき、盛り沢山の合同例会をお開きとしました。

京都部

チャリティーチャリティー2連発！

部長 石倉 尚

2月26日(日)MKボウル上賀茂にて『京都部チャリティーボウリング大会』が開催されました。

京都部地域奉仕環境事業として木村拓馬主査所属の京都トゥービークラブにホストをしていただきました。



京都部では毎年恒例のボウリングではありましたが、コロナの影響で4年ぶりの開催となりました。

各クラブはもとより支援先のご参加もいただき175名の参加で大いに楽しみ、かつチャリティーもできるといった、ほんとに素晴らしい事業でした。ご参加いただいた皆様に感謝です。



その6日後、ゴルフです。3月4日(土)比良ゴルフ倶楽部にて『京都部リトセンチャリティーゴルフ』が開催されました。このチャリティーゴルフは宇治市の笠取にある京都YMCAリトリートセンターを支援するためのものです。

京都部YMCAサービス事業として宮崎順巳主査所属の京都キャピタルクラブにホストをしていただきました。

少し肌寒い日でしたが天候に恵まれ、11組44名で日頃の練習成果をいかに発揮されたことと思います。スコアはさておき大いに楽しみ、これまたチャリティーとなる事業です。ご参加いただいたクラブの皆様に感謝です。

部内では、トゥービークラブ25周年例会、沖縄新風(みーかじ)クラブ設立総会&チャーターナイトとありますが、このチャリティー2連発をもって今期の京都部としての事業は終了です。

残り3ヶ月、今期を振り返り次期へ繋げていくための準備に入ります。どうぞよろしくお願いいたします。



中西部



入会式がありました！



部長 福島 眞一

3月14日に大阪茨木クラブで中西部では久しぶりの入会式がありました。
中西部EMC主査の清水ワイズにとっても主査3年目で初めての入会式となりました。



小寺浩史さんは1976年生まれ
の46才、西谷由香里さんは
1981年生まれの41才。若いワ
イズメンの誕生です。皆さん、
よろしくお願いいたします。

西中国部

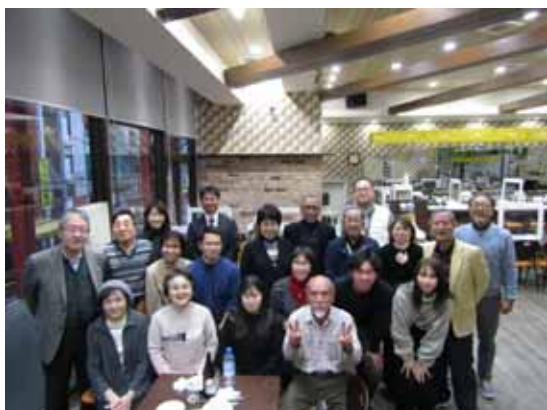
西中国部YYYフォーラム

部長 金子 敏郎

西中国部において、「西中国部YYYフォーラム」を開催しましたので、今回はその報告を行います。
記

1. 事業名／西中国部YYYフォーラム
2. 実施年月日／2023年2月18日（土）
3. 実施場所／第1部：広島YMCA
第2部／広島パークレーン（ボウリング場）
4. 実施内容／昨年開催された第22回日本YMCA大会「全国Yの日本一自慢」で、広島YMCAの代表の発表が3位受賞した。発表したリーダーから、発表した内容をワイズメンクラブのYYYフォーラム内で聞いた。
また、午後2時から交流ボウリング大会を実施、その後リーダーとワイズの懇親会を開催した

●参加者 発表会／22人 ボーリング大会／国際リーダーの5名を含め18名 懇親会／23名



九州部

熊本みなみクラブ 20周年記念例会
九州部 Y Y Y フォーラム

部長 今村 格

大阪コロナホテルで、次期会長・主査研修会が開かれていた3月4日（土）、熊本では、熊本みなみクラブ20周年記念例会が開催されました。

みなみクラブは、熊本クラブをスポンサークラブ、熊本クラブの裴ワイズを設立委員長として、2002年4月のチャーター以来、クラブ設立時は熊本YMCA南部センター（現みなみセンター）の支援を主な活動方針として、20年の歩みを続けてこられました。

さまざまな支援活動を続けてこられた中で特筆すべき活動として、ミャンマー北部カチン州の都市モガウンの、モガウンYMCAのミャンマーエイズ孤児支援を2010年より続けられ、毎年30万円を支援金として拠出しておられます。

その間、支援金を届けるために幾度となくモガウンを訪れたり、日本の孤児院を勉強するために一年間熊本で過ごしたヌーヌーさんを、みなみクラブはみなみセンターと共に中心的に支援し続けられました。記念例会の席上でも、モガウンYMCAへの記念支援金贈呈式が行われました。また、熊本クラブには、スポンサークラブとしての感謝状と記念品代が贈呈されました。



アフターコロナのYMCAの未来

記念講演として、「アフターコロナのYMCAの未来」と題するパネルディスカッションが行われ、熊本YMCA光永総主事の発題に応じて、二人の若き学院生代表が自分の意見を述べ、丸目担当主事がフォローするという流れが展開されました。学院生からすれば、会場に集うワイズメンの多くは、親世代を超えておじいさん・おばあさん（失礼）世代でしょうから、その前で自分の意見を述べるということは、かなりの緊張を伴うものだったと思われます。

その前週、3月4日（土）には九州部第3回評議会と Y Y Y フォーラムが熊本YMCAジェーンズホールにて熊本YMCA光永総主事、田上理事、清水 Y サ・ユース事業主任を迎え、会場参加36名・ZOOM参加9名、総数45名で開催しました。評議会では、提議された4議案全てが可決され、懸案だった九州部ホームページも適時更新される目処が立ちました。

評議会後に開催された Y Y Y フォーラムでは、今期九州部 Y サ・ユース事業主査の熊本みなみクラブの内村ワイズが、みなみクラブの Y サ活動を自クラブに入会した新人（Y坊）の目で評価する物語を通して、Y サ事業を理解するというドラマ仕立ての報告がされ、Y サ・ユース事業の理解を深めました。



九州部第3回評議会

2023年3月15日

ワイズメンズクラブ国際協会西日本区
2022-2023年度 代議員各位

ワイズメンズクラブ国際協会
2022-2023年度 西日本区理事 田上 正

2022-2023年度 西日本区年次代議員会開催公告

西日本区定款第6条第6項に基づき、下記要領の通り、2022-2023年度代西日本区年次代議員会の開催を公告いたします。

記

1. 開催日時 2023年6月10日(土) 10:45～12:00
2. 開催場所 熊本城ホール A3・A4会議室 熊本市中心区桜町3-40
3. 代議員会に議案を出される場合は、別紙の代議員会議案提出書にご記入の上、**4月8日(土)までに以下の送付先まで E-mail 添付**、郵送、ファックスのいずれかによりご提出下さい。
※出来る限り E-mail でのご提出をお願い致します。
※議案等の提出先は西日本区理事ですが、事務の都合上、送付先は以下の通りと致します。
4. 5月12日(金)までに代議員の皆様へ議案書・出欠返信用はがき招集状を送付いたします。
5. 当日は時間厳守をお願いいたします。出席されました代議員の皆様には、旅費支給施行細則(1)⑨の規定により、西日本区大会に同時に開催される代議員会の出席者の旅費は往復実費の半額を補助します。
6. 本公告は西日本区ホームページにも掲載いたします。

以上

■議案書の送付先

〒860-0073 熊本市中心区島崎1-17-18
ワイズメンズクラブ国際協会 西日本区書記 上村眞智子
FAX: 096-324-5533
E-mail: rudy.mamechiyomail.com 西日本区書記 上村眞智子

ご不明な点がございましたら、以下の連絡先までお問い合わせ下さい。

西日本区書記 上村眞智子 (熊本ジェーンズ) までお問い合わせください。

第 30 回アジア太平洋地域大会 香港 2023

大会テーマ：力を付け、先に立ち、輝こう
Empower, Lead & Shine



HONG KONG 2023
The 30th Asia Pacific Area Convention
第三十屆亞太洲域大會 - 香港



2023年11月3日（金・祝）～5日（日）
ホスト：ワイズメンズクラブ国際協会・南東アジア区 香港部
登録受付開始：2023年4月1日

過去3年間、アジア太平洋地域大会は、新型コロナウイルス蔓延の下、物理的に開催されていませんでした。今、香港は全面的に開放され、香港政府は「ハロー香港」キャンペーンを展開し、観光客に50万枚の航空券とクーポン券を配布しています。第30回アジア太平洋地域大会ホストコミッティーは、ワイズメンの皆さまが香港に集まり、「大きな同窓会」を開くことに、心からお誘いします。

プログラムの概要

2泊3日の地域大会のプログラムには、グランドオープニングセレモニー、基調講演、中国文化公演、エクスカーショ、ハーバークルーズでのカルチャーナイト、感謝祭、国際協会 & エリアセッション、クロージングセレモニー等が含まれます。また、ゴルフやIBCフェロシップナイトなどのオプションプログラムにも別料金で参加できます。

大会会場

香港中華YMCA九龍センター、金蓮花・国際宴会場、バウヒニア・ハーバークルーズなど

宿泊施設

「香港YMCAホテル」および香港中華YMCAが運営する「シティービューホテル」（共に4つ星ホテル、MTR駅近くのダウンタウン中心部）では、シティービューとハーバークルーズのスタンダードルームを80米ドル+税という低料金でご提供します。大会の[ウェブサイト](#)でご確認ください。

登録期間と割引	登録費
スーパー早期割引 2023年5月31日以前	290米ドル
早期割引 2023年7月31日以前	310米ドル
通常 2023年8月1日以降	360米ドル

登録費には、2020年12月5日の第1四半期地域議会で決議された「グリーンレヴィ」（地球環境保護のための寄付金）の10米ドルが含まれています。



観光客向け「ハロー香港」キャンペーンについては、[香港政府観光局のウェブサイト](#)をご覧ください。

大会ウェブサイト：www.ymiaspac2023.org.

問い合わせ先：大会委員長 田中博之

MLA40601@nifty.com

◇第30回アジア太平洋地域大会 香港 2023

大会テーマ: 力を付け、先に立ち、輝こう

* 2023年11月3日(金)～5日(日) 香港

2023年3月20日

ワイズメンズクラブ国際協会西日本区の皆さまへ

西日本区理事 田上 正

西日本区書記 上村眞智子

オフィシャルエージェント募集のお知らせ

拝啓 日頃からのワイズダムへのご奉仕に感謝申し上げます。

さて、2023年11月3日(金)～5日(日)まで、香港の地において「第30回アジア太平洋地域大会 香港 2023」が開催されます。

過去3年間、新型コロナウイルス感染の影響を受けて開催が中断されていましたが、今回、香港において開催される運びとなりました。

つきましては、参加を希望される方々が安全かつ安心して大会を楽しむために万全の配慮と企画・運営が可能なオフィシャルエージェントを募集いたします。

下記資格要件を満たし、安全かつ安心して参加できる具体的な対策等をご記入の上、応募下さることをお願い申し上げます。

敬具

記

1. 名称: 「第30回アジア太平洋地域大会 香港 2023」
2. 期間: 2023年11月3日(金)～5日(日)
3. 会場: 香港中華YMCA九龍センター、金蓮花・国際宴会場、
バウヒニア・ハーバークルーズなど
4. 応募資格
 - ① 国外において主催旅行を企画できる事業者であること
 - ② 緊急の場合において日本国内での対応ができること
 - ③ 国際大会・アジア太平洋地域大会の登録、運営について知識があること
5. 応募方法 添付の応募用紙に必要事項を記載して、下記の提出先へ提出のこと
*提出先: 西日本区書記 上村 眞智子 E-mail rudy.mamechiyomail.com
6. 提出期限: 2023年4月29日(土) 必着とします。期限厳守のをお願い致します。

以上

2023 年 月 日

ワイズメンズクラブ国際協会
西日本区理事 田上 正 様

応募用紙

所属部 ・クラブ ・会員名	
事業所名称・代表者名	
事業所住所	〒
事業者連絡先	電話 FAX E-mail 携帯
事業者資格	
緊急対応体制	
運営知識・実績	
コロナなど感染予防対策	

キャビネット便り

☆2023年6月10日開催の第26回西日本区大会まで あと

71日

早いですね。西日本区大会まであと71日。

今回は西日本区大会1日目に基調講演を行って下さる川原尚行先生のご紹介を致します。

川原先生は、福岡県出身のドクターで、認定NPO法人ロシナンテスの理事長です。活動の場は、アフリカのスーダンとザンビアです。

先生は、九州大学大学院を修了後、外務省、在タンザニア日本大使館に医務官兼二等書記官として勤務後、ロンドン大学において熱帯医学を学ばれ、在スーダン日本大使館に医務官兼一等書記官として勤務されました。

平成17年に辞職された後、スーダンで医療活動を開始されました。翌18年にスーダンにて医療を中心に行うNPO法人「ロシナンテス」を設立されました。同じ年に、スーダン共和国政府より国際NGOとして正式に登録されました。医療提供の他、助産師教育、きれいな水の提供（井戸掘り）などを、精力的に行っていらっしゃいます。

2022年12月からは九州大学の客員教授に就任し、アフリカの機関との連携・協働を推進されています。



西日本区大会でどんなお話を伺えるのか、
今からワクワクしています。M. U

*写真引用先：認定NPO法人ロシナンテス
ROCINANTESのHP

